



三重大X [えつくす]

三重大学広報誌

vol.3

2005 AUTUMN

特集 教 育

特集
〈地域と共にⅢ〉

附属病院Ⅱ 移植



ホットNews

情報教育 [附属小学校・総情センター]

三重大学発「子どものための国際環境情報教育プロジェクト」

CONTENTS

MIE UNIVERSITY X

01 三重大学の教育理念

ホットNews

- 02 情報教育** [附属小学校・総情センター]
三重大学発『子どものための国際環境情報教育プロジェクト』

特集 <教育>

- 04 三重大学で英語に強くなろう!**
06 憲法 学 ~難解な学問の世界へ~
08 力量ある教師を育てたい
10 実践の知を育む看護教育 ~地域に根ざした看護教育を~
12 レゴロボット製作実習 ~モノづくりのおもしろさと難しさを体感~
14 フィールドサイエンスセンター体験演習 ~大自然の中で生物資源学を学ぶ宿泊実習~
16 三重大を歩く
18 ★ From Campus ★学務部から

特集 <地域と共にⅢ> 三重大医学部附属病院Ⅱ

- 19 附属病院 外来**
20 生体肝移植
22 角膜移植
23 腎臓移植

information

- 24 附属図書館から** ~図書館の活動~
26 えっくすくん気になる *NEWS*
28 ★学校紹介★クラブ・サークル | かめっぷり
28 ★スポット★町屋海岸~三重大に入学したら最初に訪れる場所~
29 歴史街道シリーズ | 町屋海岸

今の大は、学力のひずみや人間関係を取り結んでいくことの難しさなど、教育全般に見られるのと同じような困難を抱えています。また他方で、様々なに生起する地域の諸問題を解決したり、国際化・情報化の進展に応じるといった社会の期待に応えることも求められています。このような諸課題に応える教育を築いていくために、三重大は「感じる力」「考える力」「生きる力」および「コミュニケーション力」の育成を重視し、地域に根ざし国際的に活躍できる人材を養成するという教育目標を設定しています。感性豊かで、視野が広くかつ深い思考力を持ち、そして何よりも実践的に問題を解決する実力を備えた人間を育てていくのです。

その成果の一端が認められたのが、平成16年度における文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」および「現代的ニーズ取り組み支援プログラム」のダブル採択です。

今後は、同プログラムにおけるPBLチュートリアル教育(問題発見解決型学習)や知的財産教育を始め、eラーニング(IT技術を活用した学習教育)、さらにはTOEICを活用した実践的な外国語教育などを発展させながら、地域圏大学としての教育使命を果たしていくとしています。

三重大学 理事・副学長(教育担当)

山田 康彦
Yamada, Yasuhiko



情報教育

[附属小学校・総情センター]

= 6月24日記念行事 =

三重大学と三重大学インキュベータに居を構えるイーラボ・エクスペリエンス社は「地域発の子どものための国際環境情報教育プロジェクト」を2005年1月APAN(Asia Pacific Advanced Network)国際会議(タイ、バンコク)で提案しました。

このプロジェクトは『「農林水産省のITプロジェクト」の中で開発され、三重大学とイーラボ・エクスペリエンス社が様々な応用展開を図っている「フィールドサーバー」を子ども向けソフト開発言語「Squeak」を用いて世界の子どもの環境情報教育を推進する』というものです。

このプロジェクトの先進性が日本ヒューレットパッカード株式会社の社会貢献活動認定プログラムに認められ、同社から三重大学及び附属小学校にPCを57基と液晶プロジェクタ等が寄贈されました。

日本HP社
瓜谷輝之 部長

アラン・ケイ氏



三重大学発『子どものための国際環境情報教育プロジェクト』

21世紀に入り国際化、情報化等社会の変化が世界的規模で急速に進む中で、様々な形でその影響を受けてしまう子ども達が健やかに育つための環境を、国際的な視野に立って整備することが求められています。

お招きありがとうございました。私は1940年に生まれました。幼い頃から本が好きで、よく読んだものです。私が生まれ育った時代、アメリカは世界の紛争に多くかかわっていたこともあり、様々な本を読むうちに世界には数多くの問題が存在することを知りました。

また、本を読むうちに大人が嫌いになりました。普段は常識的なことを言っているのに、戦争や問題を生み出している大人を信用できないと思い、こんな大人にならなくなりたくなりました。しかし、本を読んでいくうちに科学技術についても知識を得て、この科学技術を有効に使えば、世の中の様々な問題を解決できるのではないか?と考えるようになりました。今、世界は以前にもまして、紛争、貧困、環境汚染などの問題に直面しています。こういう世の中で、正しい科学技術を子ども達に伝えていくことはとても重要だと思います。

三重大学のプレゼンテーションを拝聴し、優れた技術をご紹介いただきました。このフィールドサーバーのような技術の結晶が、子ども達が地球環境などを共に考え、行動と交流を取る道具となり、今後の世界を良い方へと導いてくれる事を願い、戦争のような過ちを繰り返さず、二度と悲しい出来事がおこらない事を願います。

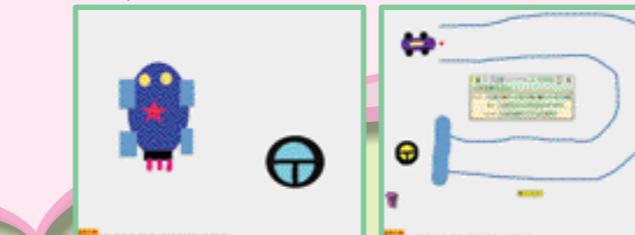
世界の優れたプロジェクトや、子ども達への教育プログラムに対して多くの助成を行っている(私も所属している)ヒューレットパッカード社をとても誇りに思っています。どうもありがとうございました。



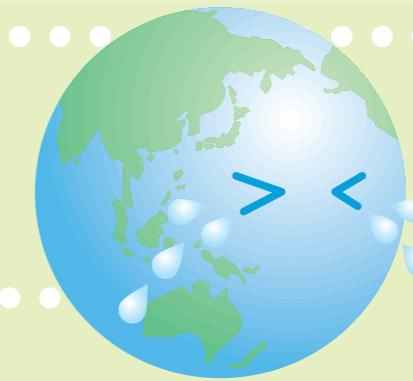
アラン・ケイ
Alan, Kay

「パソコンの父」といわれているアランさんは、昨年コンピュータのノーベル賞といわれるチューリング賞を受賞、子供でも直感的に理解できるプログラミング言語「Squeak」を開発した人です。日本のノーベル賞といわれる京都賞も受賞しています。

●「Squeak」作品



▲アランさんの講演



支援者
●(独)中央農業総合研究所 二宮部長・平藤室長
●三重大学 亀岡理事・副学長

事業内容

地球上における、生物の育成環境(気温、湿度、日照量、土壤温度、土壤水等)を計測出来る、ユビキタスコンポフィールドサーバーを用いて、子供達に地球の健康状態を教える環境教育応用や、農家の担い手に栽培をやすしく教えたり、ガーデニングを上手にするための商品とサービスを、研究者、企業、学校、一般家庭向けに提供する。



▼プログラムの説明に聞きいる
野呂昭彦 知事

イーラボ・エクスペリエンス社
島村博 代表取締役社長



愛・地球博(瀬戸会場)の「世界ミーム博覧会2005」では、招待された附属小学校児童5年生37名(担任:小坂尚照教諭)がアラン・ケイ氏から「直感でいろいろなことを試し、発見していく子どもたちの感性を大切にすべきだ」とのコンセプトで「子ども向けソフト開発言語「Squeak」の体験指導を受けました。児童たちは「Squeak」を使って、まず画面上に車や曲線の道路などを配置し、アラン・ケイ氏からの助言を受けながら、「思ったように動かせるのが面白い」とキャラクターの向きを変える方法などを試していました。



三重大学で英語に強くなろう！

① 使える英語が身につく！

三重大学の英語教育^{※1}は、これまでもコミュニケーション力養成型でしたが、2005年4月に、TOEIC^{※2}(トイック)を取り入れたことにより、実践英語力養成型へとさらにパワーアップしました。

先ず、1年次の間に、実践英語の基礎力を集中的に養成します。そして、その基礎力を土台にして、卒業までに、社会で通用する実践英語力を身につけることができるような授業も準備しています。

【※1】ここで言う英語教育とは？

各学部で行われている専門教育とは別に、三重大学のすべての学部生が受けなければならない共通教育の英語教育のことです。外国語科目としては英語の他に、ドイツ語、中国語、フランス語、スペイン語、朝鮮語、ポルトガル語、ロシア語が開講されています。

なお、教育学部はTOEICを取り入れた実践英語力養成カリキュラムを導入していません。

【※2】TOEICとは？

アメリカの標準テスト開発機関が作成している、信頼度の高いテストです。2004年度には、日本国内だけでも143万人がTOEICを受験しています。このTOEICは、国内の教育機関が入学や進級の基準として用いているばかりではなく、多くの企業が採用や昇進の際の基準として採用しています。

② 三重大学の新しい英語教育はここが違う！

1年生の間は、英語漬け。週に3回の授業を受け、さらにコンピューター自習プログラムを使って週に1時間勉強します。週3回の授業の中の一つは、TOEICクラスです。TOEICのスコアにより成績ができます。これは全国でも初の試みです。さらに、英語力別クラス編成なので、自分の英語力にあったクラスで授業を受けることが出来ます。1年次の必修英語が修了した後にも、英語のネイティブ教員による英語コミュニケーション力強化科目や、TOEICのスコアアップを目指した科目を受講することができます。在学中は、余計なお金を払って英会話学校に行く必要などありません。

三重大学共通教育センター実践部門英語分科会長
三重大学人文学部・教授
Ayano, Seiki 綾野 誠紀

③ 新しい英語教育 学生達の反応は？

4月にスタートしたばかりの新しい英語教育ですが、授業を担当する教員からは、英語力別クラス編成のおかげで、学生達がこれまで以上に真面目に授業に取り組んでいる、という声が上がっています。出席率がほぼ100%の授業も珍しくありません。ひとりひとりが目標に向かって頑張っている。三重大学の新しい英語教育では、普通に見られる光景です。

学生の声

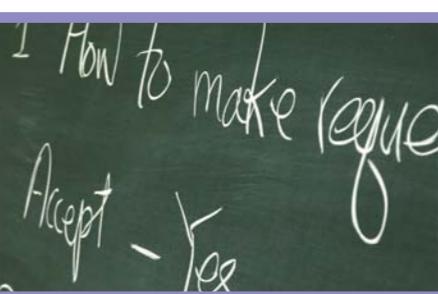
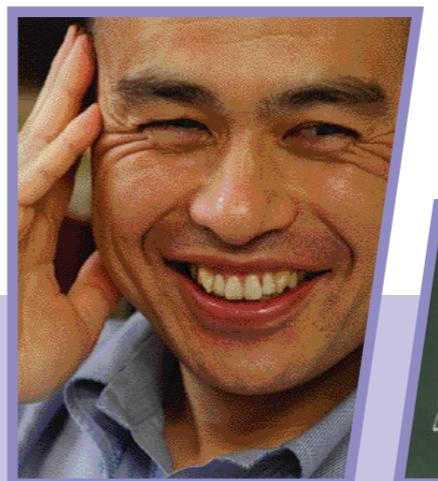
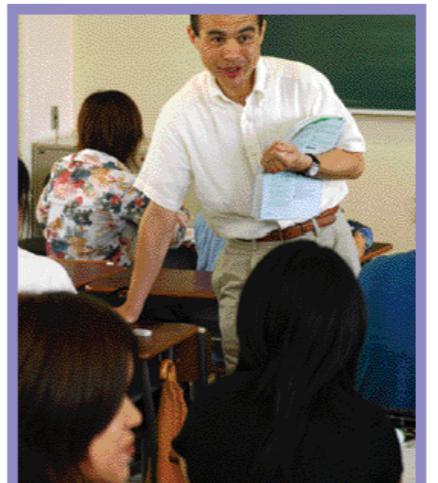
三重大学工学部物理工学科1年
森本 幸作
Morimoto, Kosaku

コンピューターによる英語自習システムは、講義がない時間帯等、好きな時間に利用できとても便利です。レベル別の教材が豊富にあり、飽きがこないので、勉強ということを忘れて、楽しみながら学んでいます。

学生の声

三重大学人文学部社会学科1年
村田 葵
Murata, Aoi

大変役に立つ集中型授業と、効率的な自習システムのおかげで、入学後たった2ヶ月の間に、TOEICのスコアが100点も上りました。そのことで自信を持つことができ、英語学習に対する意欲がより一層高まりました。



SPECIAL EDITION

特集く教育>



「面白そうだな」「自分で勉強してみようかな」と思つてもうべるような授業を

憲法 学 ～難解な学問の世界へ～

●嬉しかったこと

僕は、憲法学のすべてを授業で話そうとは思っていません。その代わりに、「憲法学って面白そうだな。少し本でも開いて自分で勉強してみようかな」と思ってもらえるような授業にするよう心がけています。そんな動機づけをしてみたい。これが僕の目指している教育です。

今日、嬉しいことがありました。大学の図書館で新聞記事を読んでいると、僕の授業をいま受けているという学生が何人かやって来て、「先生が昨日の授業で話していたことを、自分たちで調べてみようと思って、図書館で調べていたんです」と言ってくれたのです。

こんな嬉しい出来事が僕の教育生活を支えてくれます。三重大学にはそういう学生がたくさん集まっています。

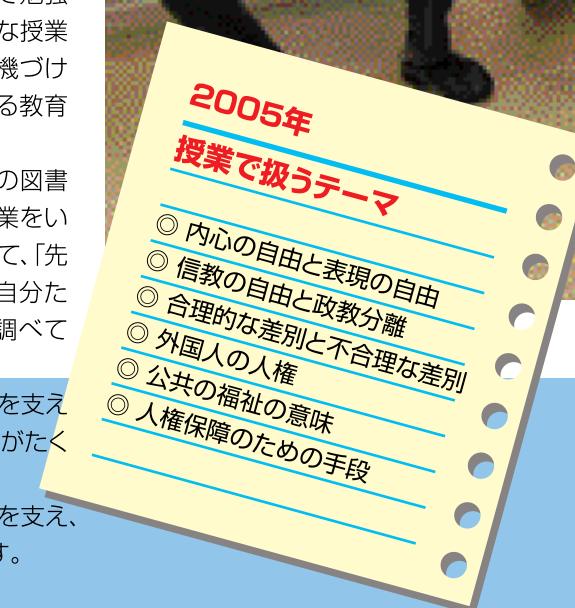
右上の写真をご覧下さい。僕の授業を支え一緒に作り上げてくれる教え子たちです。

三重大学人文学部・助教授
Terakawa, Shiro 寺川 史朗

•06

●身近な「憲法学」

女性は離婚後すぐに再婚できない…これ、みなさん知っていますか。民法733条でそう定められているのです。再婚できない期間は離婚後6ヶ月とされています。男性にはそのような決まりがないため、性別にもとづく差別を禁止する憲法14条に違反するのではないか、と言う人もいます。なぜそのような決まりができたのか、その理由が正しいとして6ヶ月間も再婚禁止にするということに問題はないのか。授業ではそういうことを考えていきます。そこで、僕の体験談の登場です。じつはその体験談、この誌面ではちょっと、言えないのですが、そういうときに限って学生は目を輝かせます。「憲法学って面白い!」そう思う瞬間なのかもしれません。と同時に、憲法学は日常生活に関わる学問だということも分かるのです。



●憲法を守るべきは誰か

「憲法とは国民が守るべき国の最高法規である」と説明する人がいます。しかし、それはまちがいです。憲法を守らなければならないのは、国民ではなく、国家(実際には、国家権力

を担当している人たち)です。国家は、憲法で書かれている範囲内で行動することができます。憲法で書かれていないことや禁止されていることを、国家は行うことができません。「立憲主義」とはそういう考え方を含ん

でいます。最近の憲法改正論議をながめていると、そういった憲法の本質的役割を軽んじるような主張が目立ちます。国家権力に歯止めをかけるために憲法がある…この基本を大切にしていかたいものです。

07.



教える、とは未来を共に語ること、学ぶ、とは誠実（まこと）を胸に刻むこと（ルイ・アラゴン）



力量ある教師を育てたい

『教師という仕事は
○○のやるものである。
なぜならば××だから』

そこにどんな文字を入れるか、でその人の「教師」に対するイメージが浮かび上がります。

よくこの比喩で用いられるのが、「ブーメラン」です。「教えるという仕事は、投げた手に必ず舞い戻ってくるブーメランである」（ウォーラー 1932）。「教えること」と「学ぶこと」が「循環する」教師の仕事の本質の一端を言い当てているのではないでしょうか。

私たち教育学部の教員は、教師の卵を育てています。そして同時に私たちも教師です。

このことが、私たち教育学部教員の宿命なのです。私たちの仕事は、いつ

でも「ブーメラン」のように戻ってきます。そしてそれは二重にも三重にも戻ってくるのです。

教育学部に入ってきた学生は、4年

間で教員免許を取得し、卒業したそのあくる月には、子どもたちに「せんせい」と呼ばれる存在になります。初任者ですが、一人前としての教師として、学級の子ども達に責任を持ち、同僚、管理職、親、地域と良好な関係を築かなければなりません。そして日本の現在の教育現実は、けっして「甘い」ものではありません。学級崩壊、いじめ、不登校、低学力問題、教育現場における問題は、いずれも一筋縄ではいかない問題です。

大学においても、さまざまな現場と連携し、現場における問題を共同で解決し、現場に文化的な「材」を持ち込むという活動を通して、実践の知を獲得することに挑戦し始めています。その具体的な例を3人の先生方に紹介してもらおうと思います。

私たちは、厳しい学校現場に飛び込んで、希望を失わずにねばり強く、子どもに働きかけ、小さくても現実を変

三重大学教育学部・教授
Moriawaki, Takeo 森脇 健夫
[URL] <http://www.cc.mie-u.ac.jp/~jugyoron/>

SPECIAL EDITION

教師の仕事とは
「学び」続けること。
自分と向き合い、
自分を育てていく

「体育」って、面白い！
「おもしろさ」(interesting)
探求の水先案内人

三重大学教育学部・教授
Yamamoto, Toshihiko 山本 俊彦

[URL] <http://www.cc.mie-u.ac.jp/~In20104/index.htm>

三重大学教育学部・助教授
岡野 昇 Okano, Noboru



▲小学校専門体育Ⅰの授業開き(第1時間目)

「鬼ごっこ」、「キャッチボール」…昔からの子供たちの遊びです。ボールを投げる、受ける…人と人が運動を介してふれあうことで楽しさ、「おもしろさ」(interesting)を体験することができます。友達がそばにいるだけで、道具も場所も選ばなくとも、運動をすることができます。

私の授業では、学生達が自分自身で体験することにより、運動が好きな子供だけでなく、嫌いな子供たちにもその楽しさを伝えることができるよう工夫するためへの取組として、学生自身が教師となって小学校の体育の授業で教えることを想定したアイデアコンペを行います。そこには、子供たちを夢中にさせる工夫や、オリジナリティが求められます。

学生達は与えられた課題をこなすではなく、自分自身の体験を通して、運動の楽しさをどうやって伝えていったらいいのかを学びます。

私は、こうした対話的実践の中で、自分と向き合い、自分を育てていくことができるような学生を一人でも多く学校教育現場に送り出したいと思っていますし、そのことが小学校教育現場から大学教育現場に転じた私のアイデンティティでもあります。

私が取組を進めている教員養成カリキュラムは、「自己形成カリキュラム」です。これは、学生と社会をつなぎ、他者と交わり、意味を紡ぎだし、自己アイデンティティと職業アイデンティティを育していくという学生自身の「自己形成=学び」を誘発するカリキュラムのことです。とりわけ、学生と教員(私)の対話、学生相互の対話、対象世界との対話、自己(学習者である学生自身)との対話といった「対話」を重視する授業実践を展開しています。

これは、大学教育の「講義」に対する考え方を見直そうとすることでもあります。すなわち、「講義」=一方的に教授する場所を「授業=学生と共に創りあげていく場」として位置づけようとする試みです。例えば、「小学校専門体育」や「小学校専門生活」では、①「テーマ・探求・共有」型の授業展開、②「小專体育(生活)ノート(個人ポートフォリオ)」の作成、③「小專体育(生活)授業通信」の発行、④「アイデア授業づくり」の実施、⑤「自己評価・授業評価」の実施などを行っています。

私は、こうした対話的実践の中で、自分と向き合い、自分を育てていくことができるような学生を一人でも多く学校教育現場に送り出したいと思っていますし、そのことが小学校教育現場から大学教育現場に転じた私のアイデンティティでもあります。



▲小学校専門体育Ⅰの最終授業



▲小学校専門体育Ⅰの授業の様子、人間いすで歩く

Silenceを感じ、聴きとる力
教師の仕事とは、
一人一人の心の色、
音色をのせる「パレット」(palette)

三重大学教育学部・助教授
Nezu, Chikako 根津 知佳子

[URL] <http://www2.odn.ne.jp/~cks30960>



美術・音楽・「ものづくり」を融合させたオリジナルの楽器を考える

私の授業では、対象となる子ども達を想定した上で、どのような活動や楽器が子ども達にとって適切で魅力的なかを学生同士が考える教室型授業と、実際に子ども達と直接触れ合う現場型の体験授業を行っています。例えば「小学校3年生にわかりやすい楽譜をつくる」という課題をグループで考え、その楽譜を用いた実践を行います。机上でイメージした子ども像と、実際の子どもの反応は必ずしも一致しません。学生達が戸惑っている時は、できる限り見守ります。学生達は子ども達が何を感じているのかを読み取る努力をし、充実した活動を展開するために“知”を働かせます。そして、言葉だけではなく、からだの動きや表情を読み取ろうとし、soundだけではなく、silenceに耳を傾けることの大切さを学ぶのです。

空のみどり、山のみどり、海のみどり(三翠)に囲まれた“自然”の中で学ぶ三重大生だからこそ、子ども達が“自然体”で感じているモノ・コトに丁寧に耳を傾け、子ども同士の力で、彩りや重なりを創り出していくためにはどうしたらよいか、考え続けて欲しいと思います。



「世界に一つだけの楽器」の誕生
子ども達と学生の手型がひとつになった
クーゲルバーン(玉の道)

SPECIAL EDITION



看護専門職者を育てる



実践の知を育む看護教育 ～地域に根ざした看護教育を～

病むとともに歩み、生まれくる命を慈しんで、人々とともに健康な社会を育む一助となるような看護専門職者を育てたい。

● 臨地実習

実践の知を育む看護教育では、患者様や住民の方々、あるいは看護専門職者としてご活躍中の方々に直接学ばせていただく「**臨地実習**」を大切にしています。学生は出会った人々から、看護専門職者への期待を告げられ、期待に応える将来の自分を夢みるようになります。そういう意味で、地域の方々が、直接的に看護学生を育ててくださっているといつても過言ではありません。教育現場では、将来の看護専門職者への社会のニーズをいち早く知り、教育

をその必要に合わせて適切に変えていくことが求められています。また、教員には、実践者と知識や技術・知恵を共有し、有機的に学問を実践に結びつけていくという社会的使命があります。

● 地域に根ざした看護教育 ケアクリニック構想

看護専門職者と教員が共同で創造的に実践する機会を創り、それを学部生や大学院生に学んでもらおうという試みを始めました。それが、**ケアクリニック構想**です。

今後は、ライフスタイルにあわせて地域の方々と共に、三重から全国へ、そして世界へ発信する看護教育を造り上げていきたいと思います。

三重大学医学部看護学科・助教授
高植 幸子 Takaue, Sachiko
[URL] <http://www.nurse.medic.mie-u.ac.jp/japanese/faculty/takaue001.html>



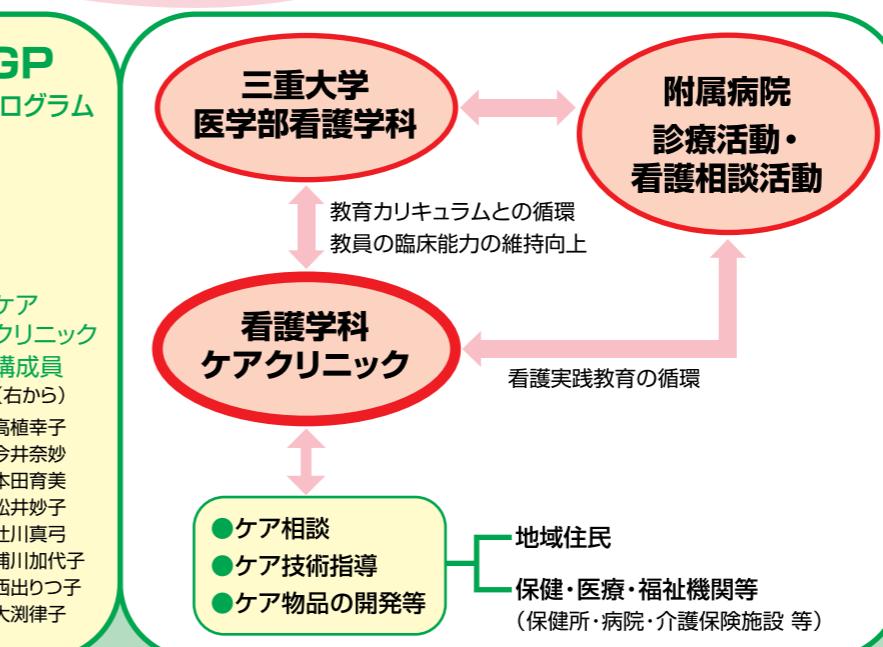
糖尿病フットケア看護外来

すくすく子育てクリニック

平成16年度 三重大学教育 GP 社会的ニーズに対応した看護専門職教育支援 プログラム

赤ちゃんからお年寄りまでを対象とする総合的なケアクリニックを開設

- 地域住民の幅広いケアニーズに応える
- ケアに携わる保健・医療・福祉の看護職への教育支援
- 学生に対し、将来の看護実践の在り方を深く考察する機会を創る



ケアクリニック構成員
(右から)
高植幸子
今井奈妙
本田育美
松井妙子
辻川真弓
浦川加代子
西出立子
大渕律子

● ケア相談
● ケア技術指導
● ケア物品の開発等
地域住民
保健・医療・福祉機関等
(保健所・病院・介護保険施設 等)

ケアクリニック構想

乳児から高齢者を対象とする総合的なケアクリニックを開設

- ① 地域住民の幅広いケアニーズに応える
- ② ケアに携わる保健・医療・福祉機関の看護職への教育支援
- ③ 看護学部生ならびに大学院生に、将来の看護実践の在り方を深く考察する機会を創る

● 排泄ケア・オムツ相談室

代表者：医学部助教授・高植幸子

● 化学物質過敏症看護相談室

代表者：医学部助手・今井奈妙

● 糖尿病フットケア看護外来

代表者：医学部助教授・本田育美

● こころのケアクリニック

代表者：医学部助教授・浦川加代子

● ホスピス・緩和ケアなんでも相談

代表者：医学部助教授・辻川真弓

● 在宅高齢者ケア相談室

代表者：医学部助教授・松井妙子

● すくすく子育てクリニック

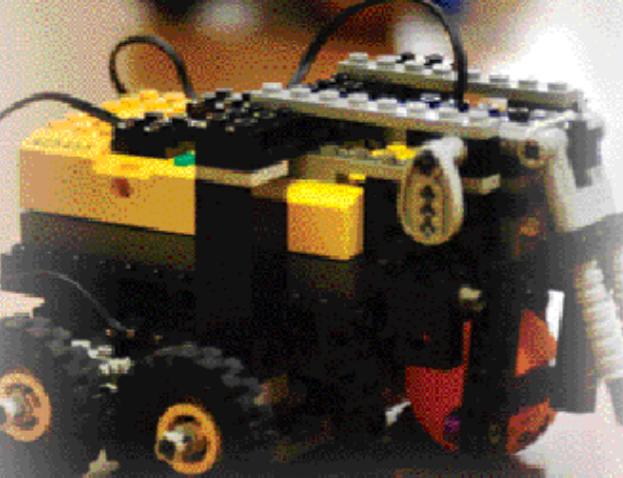
代表者：医学部講師・西出立子

● 認知症高齢者ケア相談

代表者：医学部教授・大渕律子



「モノづくり」を大切にしています。



レゴロボット製作実習 ～モノづくりのおもしろさと難しさを体感～



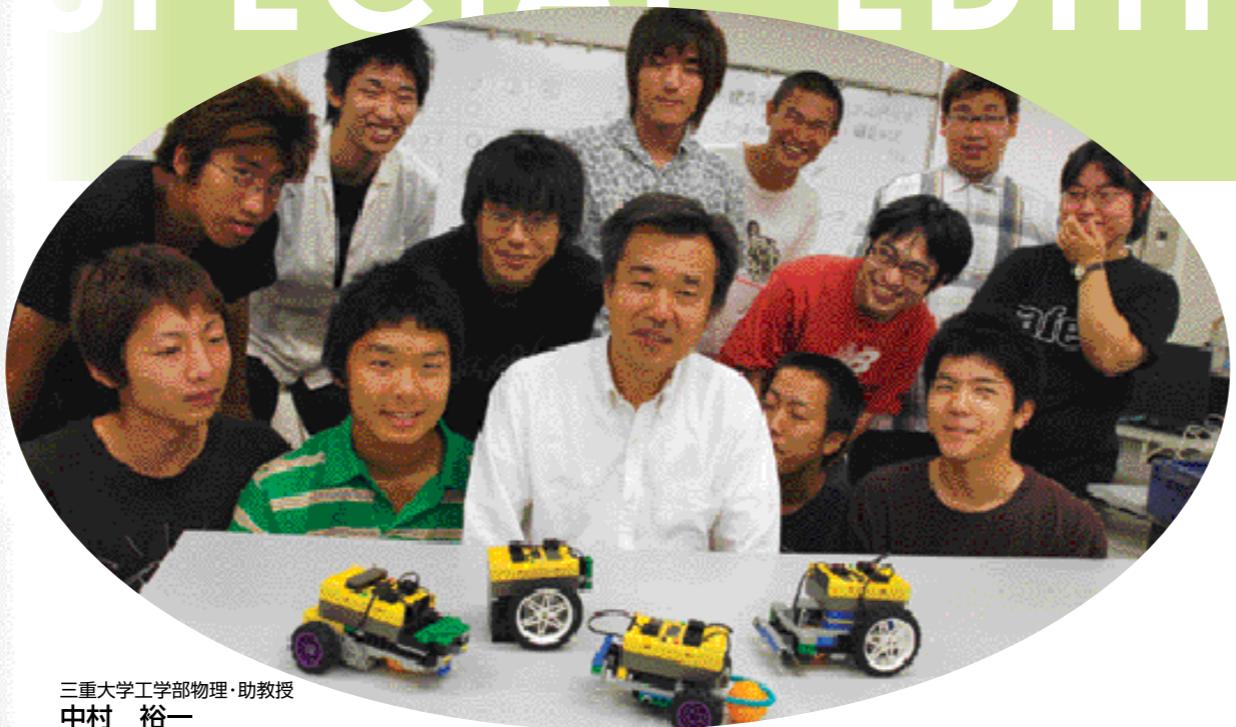
●レゴロボット製作実習の はじまり

最近の遊びはテレビゲームが主流で、おもちゃ(モノ)を分解して仕組みを調べたり、自分でおもちゃ(モノ)を作ったりすることはほとんどないようです。

この授業は、学生にモノづくりのおもしろさとむずかしさを体感してほしいという、物理工学科の若い先生の熱意から生まれました。5年ほど前から、1年生前期の「物理工学セ

SPECIAL EDITION

特集 教育



三重大学工学部物理・助教授
中村 裕一
Nakamura, Yuichi
(今年度物理工学科競技会担当教員)

物理工学科とは
「モノづくり」の幅広いニーズと最先端のナノテクノロジーに対応するため機械系、電気電子系、物理系の先生が集まってできたユニークな学科
[URL] <http://www.phen.mie-u.ac.jp/>

●講義のねらいと成果

単純なロボットであるだけに、その改善には創意工夫が求められます。試行錯誤を繰り返すことによって、創造性やモノづくりのセンスが養われます。また、成功と失敗を通して、モノづくりのおもしろさ(楽しさ)とむずかしさを体感します。チーム内でのディスカッションなどを通じて、モノづくりにおける共同作業の重要性も実感します。

教員が予想もしなかった独創的なロボットを作る学生がいます。授業時間だけでは足りないと、自主的に時間外にロボット製作にはげむ学生もいます。このように、レゴロボット製作はモノづくりに興味をもたせるだけでなく、学生に自発的に活動させるという点でも大きな成果をあげています。



このロボット製作実習の発表会として最後に競技会を行います。今年度の競技は「Pリーグ ソロドリブルサッカー大会」と称し、ボール(ピンポン玉)を持ったロボットが下写真のような障害物をデフェンダーに見立てて回避してボールをゴールに入れる競技です。



ほとんどのチームがリタイヤする中、優勝ロボットは5秒という高速で完走しました。入賞チームには山下学科長より賞状と教員のカンパによる賞品が贈呈されました。

今年の競技会の様子が
http://www.phen.mie-u.ac.jp/lego/LEGO2005/LEGO2005_1.htmlで御覧いただけます。

優勝



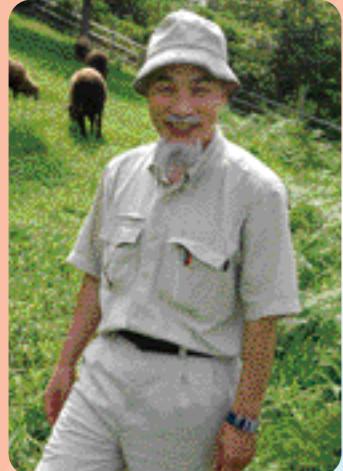


SPECIAL EDITION

特集<教育>

フィールドサイエンスセンター 体験演習 ～大自然の中で生物資源学を学ぶ宿泊実習～

実験室だけではわからない、野外での調査研究を体験！



三重大学生物資源学部・教授
紀伊・黒潮生命地域
フィールドサイエンスセンター長
大原 興太郎
Ohara, Kotaro
[URL] <http://takatora.bio.mie-u.ac.jp/fsc/>



水産実験所

機の生物の観察や水中の酸素量の測定などの実習を通し、海洋生物の不思議や海洋環境が抱える問題点について学びます。

農場

豊かな田園と果物畑が広がっています。イネをはじめとする植物や昆虫などの観察、安全な畜産物生産、農作業と機械の操作などについて学びます。



ですが、生物資源学部にはその自然を相手にする四つの附属施設—農場、演習林、水産実験所、練習船「勢水丸」があります。

本学部では一年生に入学した最初の夏休みに、これら四つの施設の一つに宿泊し、自然の中で環境や食糧問題を学ぶ、「フィ

ールドサイエンスセンターアクティビティ」を行っています。学生は、教室や実験室だけではわからないフィールドサイエンスを体験し、新たな発見をしたり、研究についての興味をさせたり、陸と海のフィールドから生物資源に対する理解を深めています。



森に続く小道



フィールド

穂やかな海況の伊勢湾を航海し、海洋・気象観測やプランクトンネットなどを用いた生物採集を昼夜行います。新鮮な魚に巡り会えることも？

演習林

緑豊かな森林浴。「癒し」の空間。森林に分け入って天然林と人工林を比較観察したり、常に変化する源流と森林のダイナミズムを体感し、森林がもつ流域を保全するしくみを学びます。

練習船「勢水丸」

穂やかな海況の伊勢湾を航海し、海洋・気象観測やプランクトンネットなどを用いた生物採集を昼夜行います。新鮮な魚に巡り会えることも？



底引き網で海底調査



CAMPUS GUIDE

三重大を歩く



総合研究棟II
(学生センター・留学生センター)
学生生活についての相談やアルバイトの紹介を始め、就職支援を行っています。



ミネルバの泉
昭和4年に三重師範学校に設置された記念碑です。



三重大の時を刻んでいます。



三重大大学のメインストリートです。



A 教育学部



B 共通教育校舎
登録有形文化財に指定され、庭園とともに静かに行きみぞ懐かしく感ぜさせてくれる。一般の方も館内を見学できますよ。



C 生物資源学部



D 三翠園
三翠会館の前にある日本庭園です。ゆっくり歩いて感慨にひたってみては?



E 総合情報処理センター



F 看護学科棟



G 医療の庭
医学の発展を願って自らの身体をお委ね下さった方の靈をお慰めするために造られました。



H 医学部



J 医学部附属病院



キャンパス内ではいろんなオブジェが発見できるよ。



10



第一食堂
キャンパスのほぼ中央にあって、メニューも豊富です。



木かけ、くつろぎのひとときを…



E 人文学部



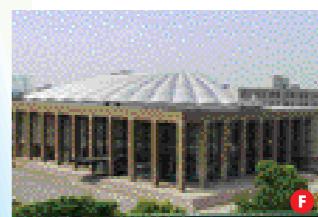
生協
本や生活雑貨、パンなどのほか、旅行のチケットもここで買えます。



D 附属図書館



モニュメント
「いつつの支えあうかたち」
5学部が互いに支えあっている姿をシンボライズしたものです。



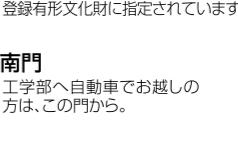
F 講堂 (Matsu-no-jiyuu-in Hall)
屋根が貝殻のデザインで入学式や卒業式のほかいろいろなイベント会場として利用されています。



**サテライト・ベンチャー
ビジネス・ラボラトリー**
若手研究者の独創的な研究開発を推進しています。



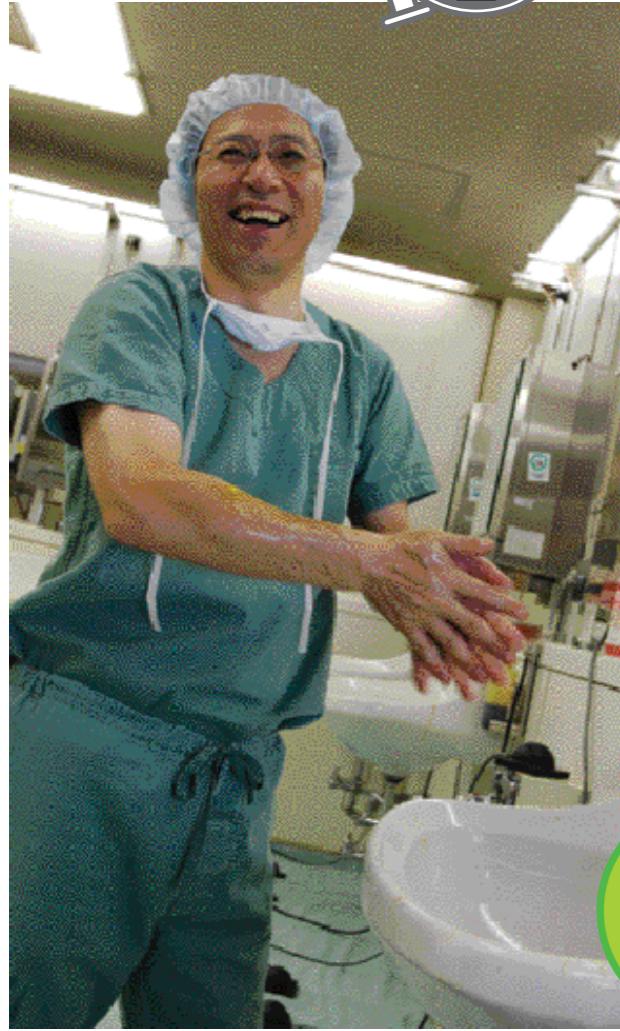
レーモンドホール
日本近代建築の父と呼ばれる、アン東ニオ・レーモンド氏の作で、三重県立大学の附属図書館として建築され、登録有形文化財に指定されています。



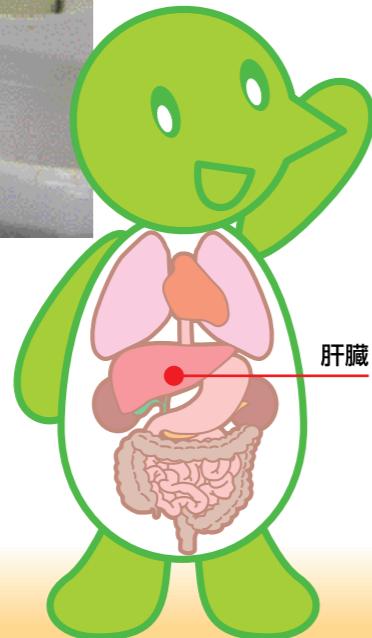
南門
工学部へ自動車でお越しの方は、この門から。



G 工学部

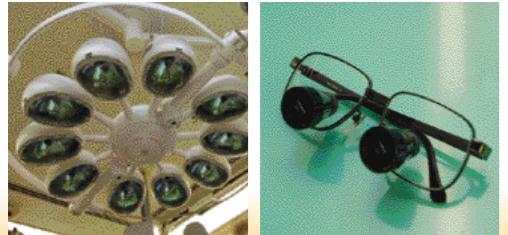


肝臓病の新しい治療 生体肝移植とは



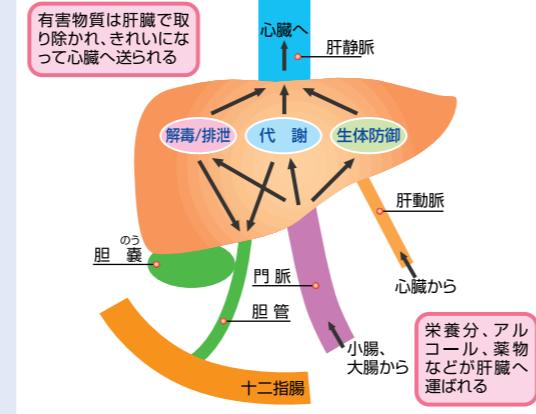
三重大学大学院医学系研究科・教授
上本 伸二 Uemoto, Shinji

[URL] <http://www.medic.mie-u.ac.jp/gekai/index.html>

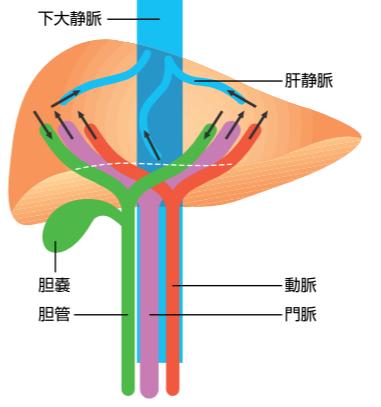


SPECIAL EDITION

肝臓の働き



- 解毒／排泄…有機物質を取り除き、尿として排泄
- 代謝…腸で消化吸収された栄養素を必要なものに作り替え、各臓器に送りだしたり、肝臓に貯蔵
- 生体防衛…流入してくる細菌や異物を処理
リンパ球など全身の免疫の役割



- 2つに分けることができる肝臓**
肝臓には、3つの血管がそれぞれ左右に分かれ、左右で同じ動きをしています。
- 肝動脈 = 肝臓に入る血管
- 門脈 = 肝臓に入る血管
- 肝静脈 = 肝臓から出る血管

ドナーの適応基準

【生体ドナー】

生体肝移植で臓器を提供される方

【レシピエント】

臓器提供を受ける方

倫理的

- 3親等以内のご家族(両親、成人された子供、兄弟、姉、妹、おじ、おば、甥、姪)あるいは配偶者。
- 自分の意思で提供を希望。

年齢

- 年齢は20歳以上65歳未満を原則

医学的

- 肉体的・精神的に健康。
- ウイルス感染症が無いこと。
- ドナーとレシピエントとの体格差のない方が望ましい。
- ABO式血型が一致あるいは適合していることが望ましい。
- 組織適合検査:HLA(ヒト白血球抗原)タイピングで、GVHD(提供者のリンパ球がレシピエントの体内で増殖し攻撃すること)の可能性のある組み合わせで無いこと。

生体肝移植の費用
私費診療の場合=手術当日から退院まで、平均1,000万円程度
保健診療の場合=私費診療の3割程度

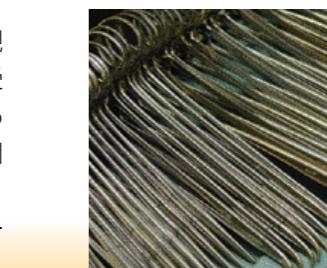
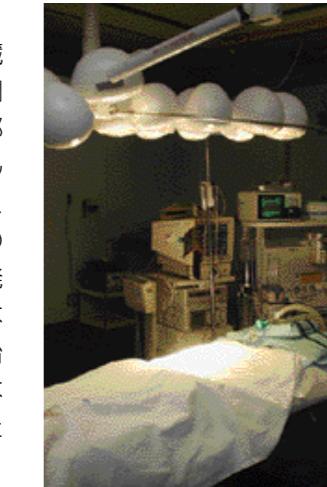
ケビン君 笑顔で帰国



ケビン・アンティア・プラダナ・スカンタ君は、父親のスカンタ・イ・マーデさんから肝臓の一部を移植し元気な笑顔で7月7日、日本を旅立ってきました。

ケビン君は、生後まもなく発症した「アラジール症候群」が2003年7月(5歳時)に末期肝硬変へ進展。また、右大腿骨病的骨折にて歩行不可能の状態で、昨年末に余命数ヶ月と宣告された両親は、移植にかかる費用を借金し、一家で1月13日、バリ島より上本伸二教授を頼って三重大学附属病院にやってきました。

医療福祉支援センターでは、ケビン・プロジェクト(医学的コーディネートは、肝胆脾外科 櫻井洋至医師。生活、経済、福祉面のコーディネートは、医療福祉支援センター 原田理恵医療ソーシャルワーカー)を立ち上げ、滞在中の一家のサポートをはじめ、大学病院ならではの資源を活用し支援体制を整えることに全力を注ぎました。また、同時にマスコミの協力により支援組織の輪も広がり多くの方の暖かい善意が集まりました。(半年間で集まった善意は、940万円にも達しました。)



● ケビンプロジェクト ●

【医療スタッフ】

小児科、外科、整形外科などにまたがり30人超

【長期滞在宿泊施設】

三重ファミリールーム運営委員会の協力にて安価で長期滞在

【言語(通訳)】

インドネシアからの三重大学の留学生5人に協力

【医療費や生活費等の経済的支援】

NPO法人「伊賀の伝丸」和田氏をはじめとした

多くの人たちによる支援団体「ケビン君を支える会」が発足



三重大学大学院医学系研究科・講師
土井 素明 Doi, Motoaki 三重大学医学部・医師
福永 崇樹 Fukunaga, Takaki 福永 崇樹

“移植”が多くの患者様の眼を救う

1 角膜移植

角膜ヘルペスなどの角膜感染症や、角膜変性症、水泡性角膜症などで角膜が濁ると、見えにくくなってしまいます。角膜移植はアイバンクを通じて亡くなられた方より献眼して頂いた透明な角膜を患者の濁った角膜と置き換える治療で、治療前と比べ光がたくさん眼の中に入るように見えやすくなるのです。角膜の濁っている場所により、全層角膜移植、表層角膜移植、深層角膜移植などを行います。移植後の拒絶反応が問題でしたが、免疫抑制剤の使用法の進歩により、成績が向上してきました。患者の角膜の状態によっては、角膜上皮形成術という方法が行われることもあります。



羊膜の採取
(胎盤から羊膜を採取しているところ)



角膜移植症例
(角膜ヘルペス)
▲術前
▲術後

2 羊膜移植

羊膜は妊娠の胎盤の一部です。角膜に小さい穴が開いたときに羊膜でその穴をふさぐことができますし、眼に酸やアルカリの薬品が入ったときや何度も再発する翼状片に対して、羊膜を移植すると、角膜を透明に保つことができるようになってきました。三重大学産婦人科の協力のもと、帝王切開を行った妊婦から羊膜を提供していただき使用しています。



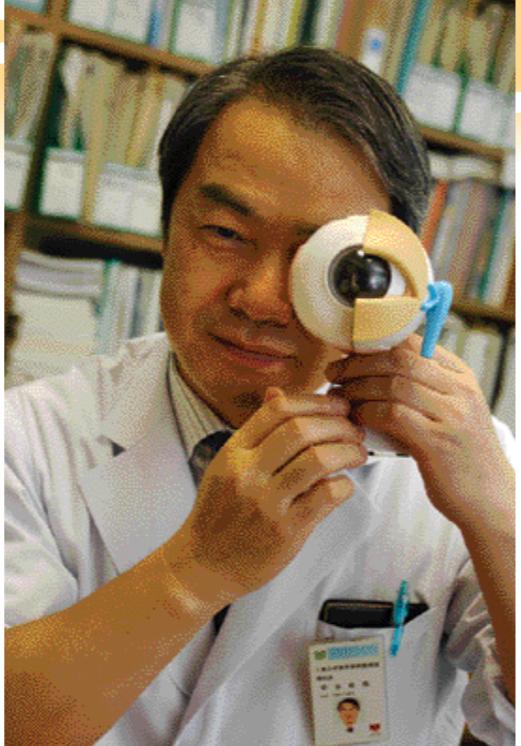
羊膜移植症例
(翼状片)
▲術前
▲術後

3 大腿筋膜移植

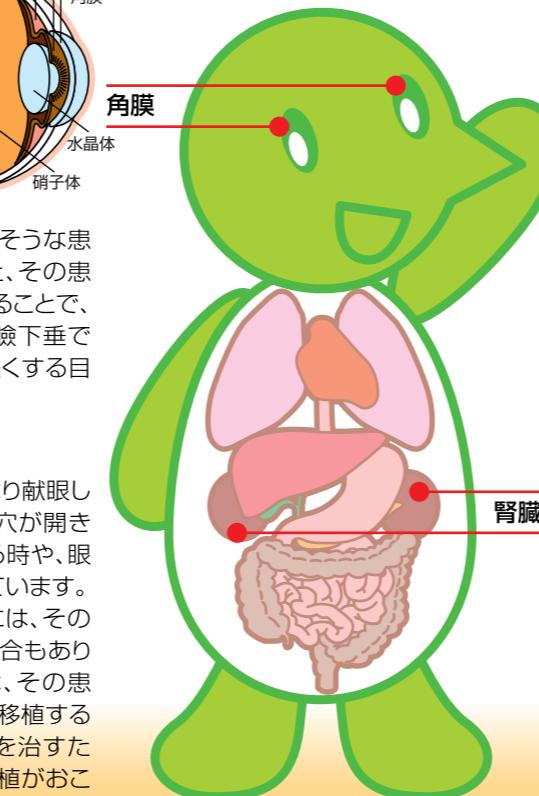
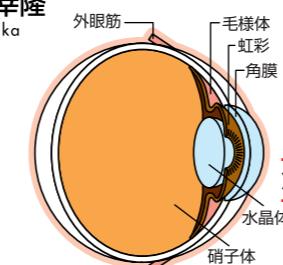
慢性の強膜炎などで強膜に穴が開きそうな患者には、三重大学整形外科の協力のもと、その患者の大腿筋膜を採取し、強膜上に移植することで、強膜を補強しています。大腿筋膜は眼瞼下垂で眼が開かない患者に対し、その程度を軽くする目的で使用する場合もあります。

4 その他の移植

アイバンクを通じて亡くなられた方より献眼して頂いた強膜は、強膜炎などで強膜に穴が開きそうな患者の薄くなった強膜を補強する時や、眼瞼悪性腫瘍で瞼を形成する時にも用いています。また、眼瞼悪性腫瘍で瞼を形成する時には、その患者の耳たぶの軟骨を瞼に移植する場合もあります。さらには、結膜が欠損した場合は、その患者の口腔粘膜を採取し、欠損した部位に移植することもあります。これからも、眼の病気を治すために、新しい技術が開発され、盛んに移植がおこなわれるようになるでしょう。



三重大学大学院医学系研究科・教授
宇治 幸隆 Uji, Yukitaka



臓器移植を推進していくために

皆さんは腎臓移植のことをご存じでしょうか。慢性腎不全の治療として血液透析、腹膜透析、そして腎臓移植があります。現在日本では約24万人が血液透析を受けており、毎年1万人ずつ増え続けております。それでは腎臓移植はどうでしょうか。日本での腎臓移植の一例目は1956年に行われ、2004年には898例（生体腎移植81%、献腎移植19%）の腎臓移植が行われています。1997年に「勝器移植法が施行され、日本でも脳死での臓器提供による移植が可能になりました。心臓などは脳死状態でないと提供できませんが、腎臓移植は違います。心停止後の提供で以前から移植が行われています。

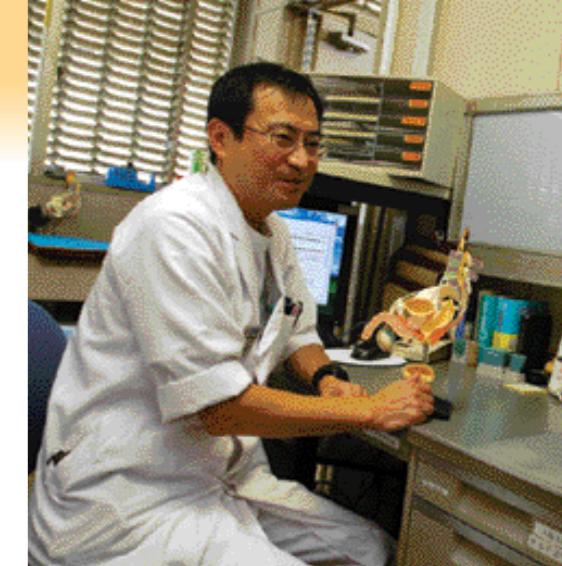
三重大学医学部附属病院でも1980年に一例目の腎臓移植が行われ、今までに60人が腎臓移植を受けております。内訳は献腎移植51例、生体腎移植9例と献腎移植を主体に行ってきました。腎臓移植の手術法は確立されており、拒絶反応を防ぐための免疫抑制剤も昔に比べ格段に進歩しており移植後の長期成績もよくなっています。三重大学医学部泌尿器科では以前より年一回腎臓移植に関する説明会と献腎移植希望者との面談を行い移植に対する理解を深めて頂くようにしております。

腎臓移植を勧めるにあたり提供者を増やす必要があります。三重県角膜・腎臓バンクと協力して移植を推進するために県内での講演会など様々な啓蒙活動を行っております。2004年9月18日には臓器移植全国推進大会が津市のリージョンプラザで開催されました。最近では2005年3月16日に市立四日市病院において三重県で初めて脳死での臓器提供が行われ、国内で36例目の臓器移植が行われました。

しかし、腎臓移植を受けられる人はまだ多くありません。脳死下での臓器提供には本人の書面による意思表示が必要です。代表的なものが臓器提供意思表示カード（ドナーカード）です。心停止後の腎臓・角膜の提供にはドナーカードは必要ありませんが家族の同意が必要です。臓器移植を推進していくためにはひとりひとりが健康および死について考え、それぞれの意思を尊重して、皆で理解し合うことが大切です。

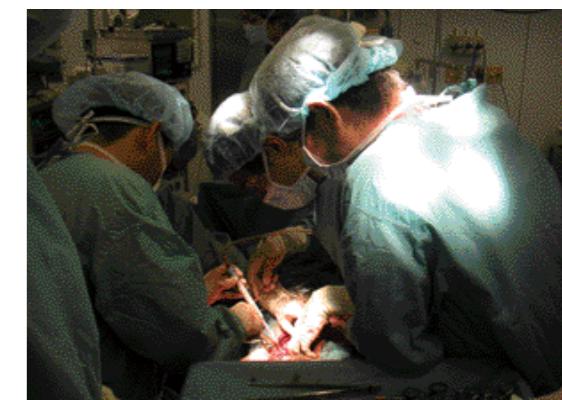
Sugimura, Yoshiaki 杉村 芳樹

腎臓移植に対する理解を深めて頂くために



三重大学医学部附属病院・講師
Kinbara, Hiroyuki 金原 弘幸

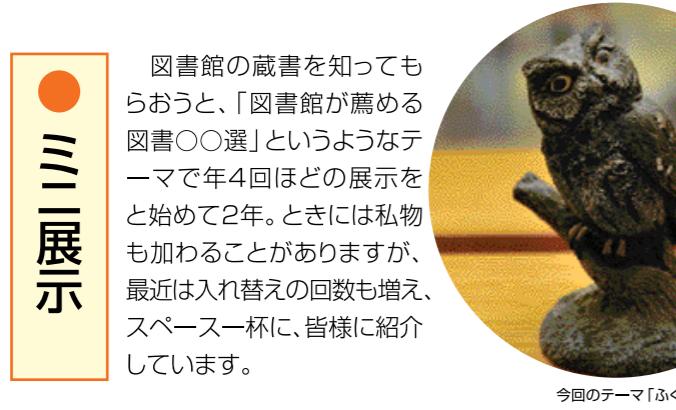
[URL] <http://www.medic.mie-u.ac.jp/urology/>



三重大学大学院
医学系研究科・教授
杉村 芳樹

附属図書館から～図書館の活動～

三展示



図書館の蔵書を知つてもらおうと、「図書館が薦める図書〇〇選」というようなテーマで年4回ほどの展示をと始めて2年。ときには私物も加わることがあります。最近は入れ替えの回数も増え、スペース一杯に、皆様に紹介しています。



『三重県郷土誌』の紹介と アーカイブ化事業

にして500点以上になります。

社会科の郷土史教育の歴史からみても明治30年代に既にこのような教育が行われていたことは特筆すべきことで、当時の若手教員の熱気が伝わってくる資料です。

岡田文化財団の助成金を得て、平成17年度から2か年計画で画像データベース化し、学外に公開する予定です。貴重な資料の保存を図ると同時に、広く一般の方々にご覧いただくことで新たな発見があるものと期待しています。

※燻蒸書庫：防虫・防黴を目的として作られた密閉式の書庫で、図書を配架したまま燻蒸、殺虫できる。

教育学部の前身校である三重師範学校で、明治の30年代から40年代にかけて夏季・冬季の休暇の課題として生徒各自の出身地の地理・歴史・産業等について調査させたものを地域毎にまとめたもので、各調査報告書は点数



津市教育委員会の「学校図書館資源共有ネットワーク推進事業」に参加して、学校図書館の活性化を支援しています。昨年度は、人文学部の学生が図書館まつりで人形劇を披露したり、学校図書館の活動現場を見学したりしました。

今年度は、テーマが「読書活動の充実と学習活動における学校図書館の活用」であることから、三重大学では学校の先生方が授業で図書館を活用できるよう、大学の授業の一部を一般開放することや図書館が情報リテラシー支援の講習会を実施することを計画しています。



お知らせ

東海・東南海・南海地震 シンポジウム開催



▲(玄界島)「福岡県西方沖地震」により倒壊した建物

名張市役所
大会議室

平成17年
10月22日(土)

13:30~16:45

●展示・「防災みえ号」は
12:00より

*詳細は、附属図書館ホームページ
<http://www.lib.mie-u.ac.jp/>
災害プロジェクト室と図書館との共催で、
毎年県内を巡回して「東海・東南海・南海地震シンポジウム」を開催しています。

****ご利用ください****

●体験学習●



●窓口●企画調整係／TEL 059-231-9083



●情報リテラシー支援●

三重大学の教育支援の一環として、情報リテラシー教育支援を積極的に行ってています。最近では、様々なメディアが利用できるようになりましたので、地域の皆様にも図書館資料の利用の仕方についての講習会を開いています。昨年度は、三重県看護協会主催の「認定看護管理者研修」のカリキュラムの一つとして、本学医学部教員との連携により専門性を生かした「インターネットを活用した看護情報検索講習会」を実施し、文部科学省の「国立大学図書館における特色ある取組」に取り上げされました。

地域の皆様のご要望に応じて実施したいと思いますので、窓口までご相談ください。

●窓口●情報リテラシー係／TEL 059-231-9089

●国際交流サロンが図書館2階にオープン●



国際交流サロン
International Exchange Salon

●窓口●国際交流課／TEL 059-231-9721
情報図書館課／TEL 059-231-9083

三重大学に学ぶ留学生、日本人学生、国際交流の理解を深めることに関心のある地域の方々のためのサロンです。「読者」や“Sports illustrated”などの外国雑誌・新聞等を配置しています。

異文化交流の場としてぜひご利用ください。

*詳細は、
<http://www.lib.mie-u.ac.jp/salon/>

SUBWAYに えっくすくん!!

名古屋の市営地下鉄栄駅の構内2ヶ所に看板があるよ!!
モウ見ててくれたかな???看板は年数回替えることになって
るんだ☆みんなに僕たちのことを覚えてもらいたくて、こ
れからもいろんなところに行くよ~!!



6月22日 三重テレビ 「ワクドキ隊」に登場!



広報室のお姉さんが「えっくす」を紹介!!
「初めてのテレビ出演にガチガチ」



三重県の地域文化振興に貢献!
★平成17年3月21日★

三重県文化
新人賞
受賞

ダンス部



★平成17年7月31日★
全日本高校・大学
ダンスフェスティバル
(神戸)
“奨励賞”受賞
「ダンスの甲子園」と言われている

防災合宿in熊野川

8月9~8月11日

三重大学災害対策プロジェ
クト室が中心となり、三重・和
歌山両大学の学生、地域住民、
行政職員など約50名が参加し、
災害時に孤立した避難所にお
けるサバイバル生活を体験し
ました。

NEWS えっくすくん 気になる NEWS



ロボフェスタ2005in三重 ロボット創造技術講演会

8月11日

三重大学
三翠ホールに

ロボコン博士と
ホンダASIMO開発者が
やってきたよ~



ロボコン博士
森 政弘 先生

ホンダASIMO開発者
竹中 透 氏



三重大学医学部 附属病院



(財)日本医療機能評価機構による病院
認定機能評価の結果、認定を受けました。

附属病院
売店で購入
できるよ



関節リウマチ
サプリメント
「RAease」
ライーズ

価格／1ケース約1ヶ月分(270カプセル)
29,400円(税込み)

健康補助食品メーカーのイシダファーマ(三重県津市)、三重大学医学部附属病院長の内田淳正教授、アミノアップ化学(北海道札幌市)の共同開発の関節リウマチ用サプリメントが発売。国内初国立大学による臨床試験を行ったことで、高い信頼性と評価を集めています。

詳しくは、URL <http://www.ipharma.co.jp>

第72回NHK
全国学校音楽コンクール
三重県コンクール
8月10日

金賞
附属中学校
(2年連続)

金賞
附属小学校
三重県中学校
総合体育大会
7月27・28日

附属中学

愛・地球博
につづいて
パペロ君「健康・食品
アドバイザー」ロボット
「関西次世代ロボットフォーラム2005」に出展!



注目の
まと
パペロ君は生物資源学部生物情報工学科研究室とNECシステムテクノロジーが、開
発に成功したパートナーロボット「健康・食品アドバイザーロボット」です。
会場のインテックス大阪で
(「ロボカップ2005大阪世界大会」と同じ会場)

平成17年度 21世紀ゼミナール開催!!

会場◎財団法人北勢地域地場産業振興センター(じばさん三重)
URL <http://www.miesc.ne.jp/jibasanmie/>

【参加申込先】※下記のところへ電話、FAX、E-mailいすれかでお申し込みください。

- 三重大学地域連携推進室…TEL / 059-231-9656 FAX / 059-231-9743
E-mail ohka@crc.mie-u.ac.jp
- 四日市商工会議所…TEL / FAX / 0593-54-8175 0593-54-8175
E-mail syoukou@city.yokkaichi.mie.jp

第3回◎平成17年10月21日(金曜日)午後6時30分～8時30分

- 講 師／中西 智子(三重大学教育学部教授)
- テーマ／「 小子化への対応～子育て支援～ 」

第4回◎平成17年12月9日(金曜日)午後6時30分～8時30分

- 講 師／加藤 征三(三重大学工学部長教授)
- テーマ／「 社会連携に根ざした工学部／工学研究のあり方 」

第5回◎平成18年2月(日時未定)

- 主催者／伊藤 達雄(名古屋産業大学長(元三重大学人文学部長))
- テーマ／「 都市環境ゼミナール 」

第6回◎平成18年3月17日(金曜日)午後6時30分～8時30分

- 講 師／鹿嶋 洋(三重大学人文学部助教授)
- テーマ／「 三重県北勢地域産業の強みと弱み～産業集積論の視点から～ 」

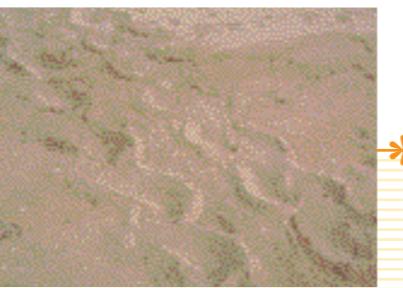


information★学校紹介

クラブ・サークル | かめっぷり



がんばれお母さん。元気な子ガメ産んでね!▼



▲ウミガメの足跡です。

私たち“かめっぷり”は、ウミガメ・イルカ等の身近な野生動物の調査・保護を目的として三重大学周辺の海岸を中心に活動を行っています。今の時期は浜を歩き、ウミガメの産卵等を探しています。活動では地域の方々との交流や協力のおかげで、様々な経験をさせてもらっています。

▼産卵確認完了!



ます。メンバーは生き物と楽しいことが大好きなため、飲み会もよく行い楽しく活動しています。これからも、活動の輪が広がるように頑張っていきたいと思います。

代表 木野 将克

(三重大学生物資源学部 生物圏生命科学科)

【URL】<http://www.geocities.co.jp/NatureLand/6204/index2.htm>

▼三重大学構内に存在する古代集落遺構
(詳しい場所はP16 “三重大を歩く”を見て下さい)



小丹神社

二〇〇三年には、本学人文学部考古学研究室(山中章教授)が大学構内で発掘をおこない、古代集落遺構を開発研究センターに説明板を設置しました。本学創造開発研究センターに説明板が立っていますので、ぜひご覧ください。町屋海岸には、古代から中世の長年にわたり「町」が存在したのです。

藤田 達生
三重大学教育学部 教授

三重大学に接した海岸は、「町屋海岸」と呼ばれています。なにもない海岸が、なぜ「町屋」なのだろう。はじめ聞いた人は、不思議に思うかもしれません。

藤堂高虎が伊勢街道を付け替えるまで、伊勢神宮をめざす旅人は、大学のあたりで東に曲がり、海岸に並行して南に向かい、志登茂川と安濃川の河口を徒步で渡りました。海岸付近には、「塙屋」という地名が広く残り、塙田の神様を祀った小丹神社といわれる延喜式内社も存在しました。これらから、海岸に面した製塩都市があったと考えられています。

information★スポット

町屋海岸～三重大学に入学したら最初に訪れる場所～

とてもよく晴れた朝に、散歩がてらに町屋海岸に行きました。海水浴場のような賑やかな海も楽しいですが、波と貝殻しかない静かな海も味わい深いものですよ。

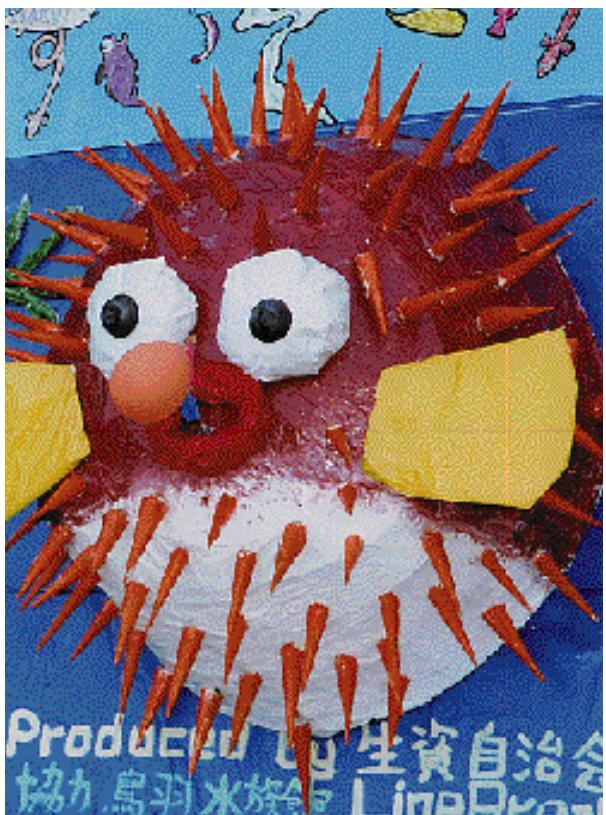
ちなみにこの日はオープンキャンパスの日。これから受験生にプレゼンするために大学に行くところです。三重大学に入ると他の大学のように新入生歓迎会がありますが、三重大学の場合は海辺でバーベキュー!海と接する機会が増えると思います。それが三重大学のいいところなのかもしれません。だって、大学のすぐ隣は、もう海なのですから。

浅野 勇貴(三重大学人文学部 社会科学科)【URL】http://photos.yahoo.co.jp/oua_broadcasting

本誌お問い合わせ先
三重大学総務部総務課広報室広報係
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9789
FAX 059-231-9000
ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp
*ご意見をお寄せください。

三重大 X [えっくす] Vol.3

平成17年9月1日発行
●発行／三重大学広報委員会
●編集／三重大学広報誌編集委員会
<委員長>亀岡季治・<人文学部>小川眞里子・<教育学部>岡田博明
<医学部>吉田利通・<工学部>塙見繁・<生物資源学部>吉岡基
<三重大学総務部総務課広報係>
船木将身・中西一美・高倉美佐子・井上真理子
●印刷／有限会社アートピア artopia@ztv.ne.jp
◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。



「エキ祭ボ」とは

Excite (盛り上がる)とEXPO (万博)を合わせた造語。

国同士がそれぞれの文化を発表しあう国際博覧会があるなら、三重大学でも個性を発揮する学生博覧会をやろう!

★国公立最大級!模擬店など100店舗以上が参加

★三重大学祭ミニオーブンキャンパス
大学ってどんなところ?

理系・文系問わずさまざまな分野の研究内容紹介

★その他催物いっぱい

三重大学祭実行委員会 <http://miedaisai.nomaki.jp/>

みんなが主役 エキ祭ボ 芸術、美術、感動的 エキ祭ボ

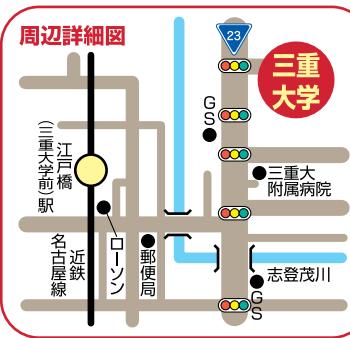
☆プレイベント☆

とき／10月29日(土)

“出会いと交流”

豪華景品ありの校内ウォークライです。“三重大学”のなんやらかんやら、三重大生が何でもあなたの問い合わせにお答えします。

(質問・参加希望 : mie_u_gakusai@hotmail.co.jp)



交通のご案内

- 近鉄江戸橋（三重大学前）駅から徒歩15分
- 津駅からタクシーで10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三重交通バス「白塚駅前」「棕本」「豊里ネオポリス」「三重病院」「太陽の街」行の【大学前】で下車



〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL 059-232-1211(代)
<http://www.mie-u.ac.jp/>



この印刷物は古紙配合率100%再生紙と環境に
やさしい植物性大豆インクを使用しています。